

インタラクティブディスプレイ M65/75/86SE3S

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」および本書記載の「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解ください。

また、お読みになった後は保証書とあわせて大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	4
ご使用上の注意	6
付属品を確認する	8
各部の名称と働き	9
正面	9
側面	10
背面	11
設置について	13
設置条件	13
スタンドについて	13
リモコンの準備と操作	14
電池を入れる	14
リモコンで操作できる範囲	14
リモコン操作	15
機器を接続する	16
PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）	16
接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）	17
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）	17
本機の画面を外部モニターなどで表示する（映像出力）	18
本機をPCから制御する（シリアル制御/サービス用端子）	18
ネットワーク接続する	19
LANケーブルの接続	19
電源を接続する	19
電源の入／切	20
タッチ操作	21
基本的な操作方法	22
ホーム画面	22
クイックソース切り替え	23
サイドメニューを表示する	24
コントロールパネルを表示する	25
ポップアップメニューを表示する	26
アプリ一覧画面を開く	27
ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）	28
描く、消す	30
選択モード	30
消しゴムモード	30
ツールボックス	31

ファイルを参照する (ファイル)	32
ウェブページを見る (ブラウザ)	33
カメラを使う (カメラ)	34
アンチウイルス機能 (Dr.Web Security Space)	35
画面を切り換える	36
詳細設定	37
ネットワーク	38
一般	41
ディスプレイ	44
デバイス	47
チャンネル	49
System Settings	51
故障かなと思ったら	55
お手入れ方法	57
仕様	58
アフターサービス	59
製品の保証について	59
修理を依頼されるとき	59



この装置は、クラスB 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



安全上のご注意


ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味


 警告	人が死亡または重傷に結びつくことが想定される内容です。
 注意	人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。

 してはいけないこと  必ずすること

 気をつけること

警告

 **使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる**

プラグを抜く

- ・ 煙が出ていたり、においがするとき
- ・ 内部に水や異物が入ってしまったとき
- ・ 本機を落としたり、本機が破損したとき

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

 **正しい電源電圧で使用する**

指定以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。


 **分解や改造をしたり、カバーを外さない**

火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。


 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

 **内部に異物を入れない**


金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。

 **電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない**

加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。

 **本機を定期的に清掃する**

お手入れには乾いた柔らかい布のみ使用してください。


 **電源プラグや端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除する**

指示

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下となり、火災の原因になります。

端子部分は汚れていると接触不良になり、動作不良になる場合があります。

また、掃除する際は、破損しないよう十分にご注意ください。

 **雷が鳴り出したら、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**


指示

火災や感電の原因になります。

 **本機に水、湯気をかけない**


禁止

本機は防水 / 防塵性を有しておりません。コーヒー湯沸かし器、電気ポット等の近くや調理場で使用しないでください。水滴、湯気が内部に入り、内部部品が腐食し、感電や故障の原因になります。

 **風呂場など水のかかる場所や雨に当たる場所には置かない**

禁止

火災や感電の原因になります。

 **アースを必ず接続する**


指示

アースを接続しないで使用すると、火災や感電の原因になります。

 **スタンドは当社指定のものを使用する**


指示

当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

 **壁掛けで使用する際は、十分な強度の金具を使用し、壁の補強をする。また、壁掛けの際には専門業者に依頼する。**


指示

注意


 **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引き抜く**

指示

コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。

 **長期間使用しないときは、電源プラグを抜く**


プラグを抜く

 **電源プラグや電源コードに異常があるときは、使用をやめる**

指示


以下のような場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・ 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- ・ コンセントに差し込んだときに電源プラグがゆるく、ぐらつく

 **熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない**

禁止

故障、発熱、タッチ誤操作の原因になります。

 **本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない**

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。



本製品を屋外で使用しない

本製品は屋内専用です。屋外で使用すると、故障の原因になります。



本機に強い衝撃を与えない

倒れたり、液晶ディスプレイが割れてけがの原因になります。



横倒し、うつ伏せ、逆さまの状態で使用しない

発火や故障の原因になります。



本機の上に物を置いたり、乗ったりしない

けがの原因になります。



移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



電池の取り扱いに注意する

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがの原因になります。以下の点に注意してください。

- ・ 指定以外の電池を使用しない
- ・ 電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えない
- ・ 電池のプラス (+) とマイナス (-) をショートさせない
- ・ 異なる種類どうしや新しい電池と使いかけの電池を混ぜて使用しない
- ・ 分解しない
- ・ 火や水の中に入れてたり、加熱しない
- ・ 長期間使わないときは、電池を取り出す

電池が液もれしたときは以下の指示に従ってください。

- ・ 素手で液をさわらない。
- ・ 液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。
- ・ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受ける。



ディスプレイが破損した場合は、液晶を皮膚に近づけない

失明や皮膚に障害を起こす原因になります。

液晶が漏れて目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けて下さい。



付属の電源コード以外は使用しない

火災や感電の原因になることがあります。



電源プラグは容易にコンセントから抜くことができる状態で使用する

異常が起きたときに、すぐ電源プラグをコンセントから抜けるようにしてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。



たこ足配線はしない

火災の原因になります。



通風口をふさがない

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。



通風口は定期的に掃除する

通風口がほこりなどでふさがると、発熱や発火・故障の原因になります。



画面を強く押ししたり、叩いたり、先のとがったもので押さない

液晶ディスプレイが破損し、けがの原因になります。



本機を移動するときは、接続しているコードを外す

コードが破損したり、引っかかって倒れてけがの原因になります。



お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災、やけど、感電の原因になります。



アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなう

また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外す



本機は精密機器です

設置の際は振動が発生するインパクトドライバーは利用しないでください。



同梱された電源コードセットは他の製品に使用しない

ご使用上の注意

周囲環境

- ・ 本機を使用するときは、周囲温度を0℃～40℃、湿度を10%～90%の範囲内にしてください。この範囲外の温度や湿度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因になることがあります。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- ・ 風通しがよく、熱がこもらない場所でご使用ください。

電源を切るとき

- ・ 本機は精密機器ですので、動作中に電源プラグをコンセントから抜いたりすると、故障の原因になります。必ず本体の電源をオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れするとき

- ・ お手入れするときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 画面を強くこすったり、固い布で拭くと傷つくおそれがあります。
- ・ シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- ・ 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- ・ 低温の場所から高温の場所に本機を移動したり、暖房を入れて室温が急激に上昇したときは、本機内部に結露が発生することがあります。このような場合は、十分に時間をおき、結露がなくなってから電源プラグにコンセントを差し込んでください。

電源ボタンについて

- ・ 電源オン時に本機の前面にある電源ボタンを短く押すと、スタンバイモードになります。
ディスプレイの表示はオフになりますが、機器は動作しています。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを長押ししてシャットダウンするか、主電源スイッチをオフ(O)にしてください。

残像について

- ・ 長時間同じ画面を表示させておくと、残像が生じることがありますが、故障ではありません。
残像は時間の経過とともになくなりますが、長時間同じ画面を表示させるような使い方はなるべく避けてください。

免責事項

- ・ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じ

た損害に関して、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（本機にお客様が登録された情報やデータの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機にお客様が登録された情報やデータが、本機の故障や修理、その他の取り扱いなどにより万一消失した場合も、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は日本国内のネットワーク専用です。日本国外ではご使用になれません。
- ・ アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・ ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・ ウィルスソフトを入れても、すべてのウィルスには対応できません。
- ・ アンチウィルス機能は有効化（アクティベーション）が必要になります。有効化を行う場合には弊社もしくは販売会社へお問い合わせください。
- ・ アンチウィルス機能は別紙の使用許諾契約にもとづき使用が可能です。本電子黒板をご使用前に使用許諾契約をお読みください。
- ・ 長時間コンセントを抜いた状態にした場合、時計表示がずれる場合がございます。
時計にずれが生じた場合には日付けと時刻の設定手順に従い再設定をお願いします。
- ・ 弊社開発のアプリケーション以外のサードパーティ製のアプリケーションは開発会社のバージョンアップにより、仕様変更ならびに使用ができなくなる場合がございます。
- ・ 弊社指定品以外の移動式スタンドや金具の使用による転倒・破損などによる故障や損害等は当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

知的財産（著作権・肖像権）について

- ・ お客様が本機を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

Bluetooth / 無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 本端末は全てのBluetooth対応機器、無線LAN (WLAN) 対応機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本端末はBluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth、無線LAN (WLAN) 機能を使用した通信時のデータや情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所で使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（電子レンジ使用時には特に影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (WLAN) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

本製品が使用する無線LAN (WLAN) のチャンネル

- 本製品は、2.4GHzの周波数帯において、1～13chの各チャンネルを利用できます。
- また、5GHzの周波数帯において、W52 (36、40、44、48ch)、W53 (52、56、60、64ch) およびW56 (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch) の各チャンネルを利用できます。

IEEE802.11b/g/n		
IEEE802.11a/n/ac/ax		
W52	W53	W56

2.4GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末のBluetooth機能および無線LAN (WLAN) 機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する）、および特定小電力無線局（免許を要しない）、アマチュア無線局（免許を要しない）などの無線局（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、ご使用を中断して、電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。
- Bluetooth機能が使用する周波数帯

2.4 FH/XX 1

- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/XX : 変調方式がFH-SSおよびその他の方式(DS-SS方式/DS-FH方式/FH-OFDM複合方式/OFDM方式以外)であることを示します。
- 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- 無線LAN (WLAN) 機能が使用する周波数帯

2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDM方式であることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末の無線LAN (WLAN) 機能は、5GHz帯を使用します。
- 電波法の定めにより5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53) の屋外利用は禁止されています。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電波通信事業法に抵触します。
- 本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が製品本体に表示されています。
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

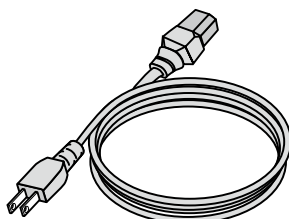
付属品を確認する

本製品には以下のものが付属します。
万一不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

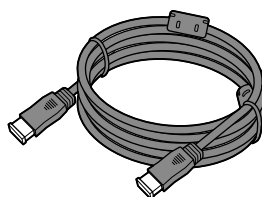
リモコン×1
単4乾電池×2



電源コード×1 (3m)

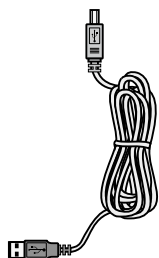


HDMIケーブル×1 (3m)

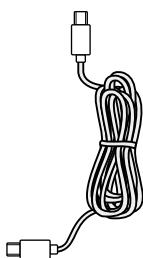


保証書×1

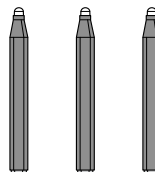
USBケーブル×1 (3m)
(USB BタイプーUSB Aタイプ)



USBケーブル×1 (2m)
(USB CタイプーUSB Cタイプ)



タッチペン×3



伸縮式スタイラスペン×1

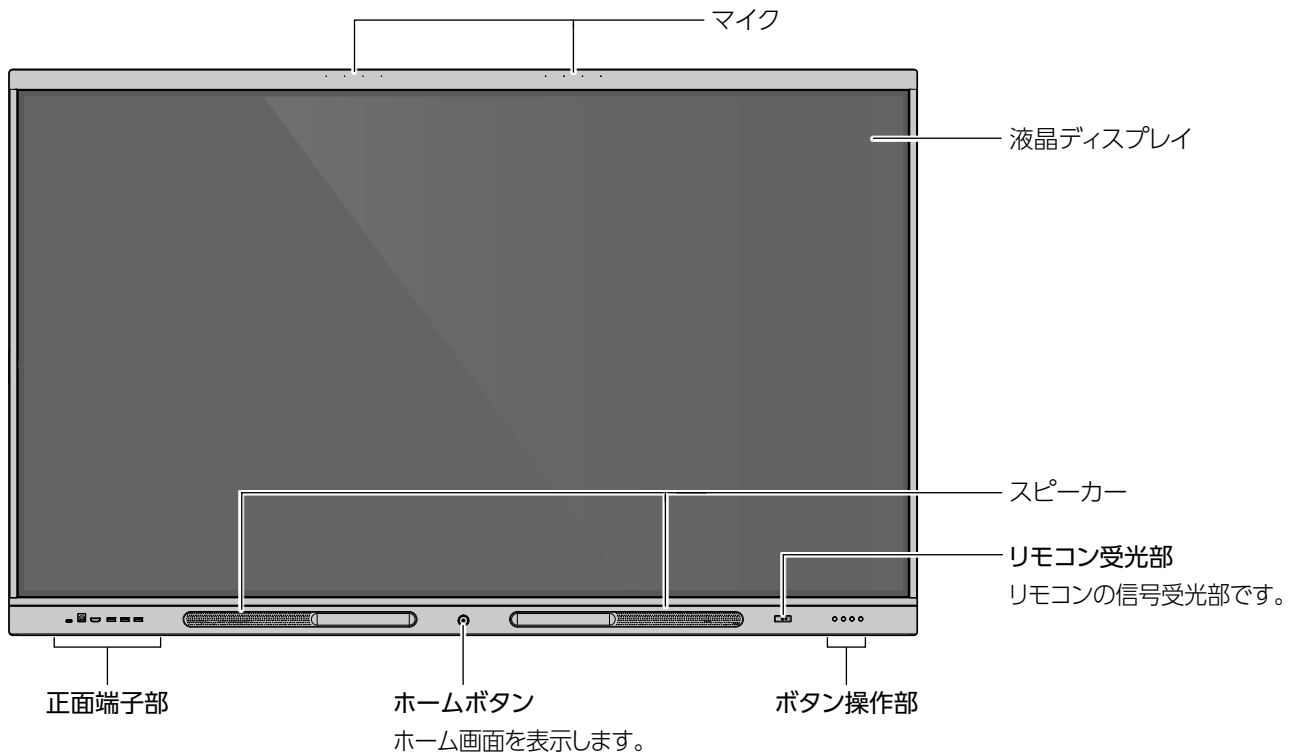


ワッシャー×4

ディスプレイをスタンドに取り付ける際に、取り付けネジと本体の間に入れてご利用ください。

各部の名称と働き

正面



ボタン操作部



音量- / 音量+	音量を調整します。
入力	入力ソースを切り替えます。
電源	電源をオン/オフします。

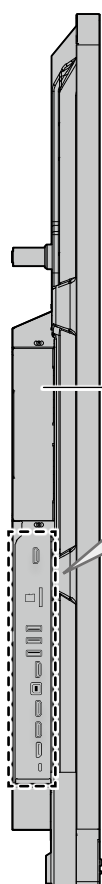
正面端子部



TYPE-C	TYPE-C対応の機器を接続します。
TOUCH	付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。
HDMI IN 4	HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。 「入力切り換え設定」で「HDMI4」を選択してください。HDMI接続では、音声も同時に入力します。
USB 3.0	接続すると、自動的にファイル形式を認識して、PCまたはAndroidどちらか最適な方へ接続されます。

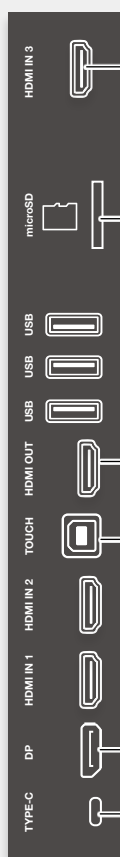
各部の名称と働き (続き)

側面



内蔵スロット：
別売のOPS機器用スロットです。

側面端子部



HDMI入力端子3：
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
「入力切り換え設定」で「HDMI3」を選択してください。HDMI接続では、音声も同時に入力します。

microSD：
microSDカードを差し込み、カード内のデータを参照したり、書き込んだりすることができます。

USB3.0端子：
ハードディスクやキーボード、マウスなどのUSB機器を接続します。

HDMI出力端子：
本機に表示している映像を外部モニターなどに出力します。

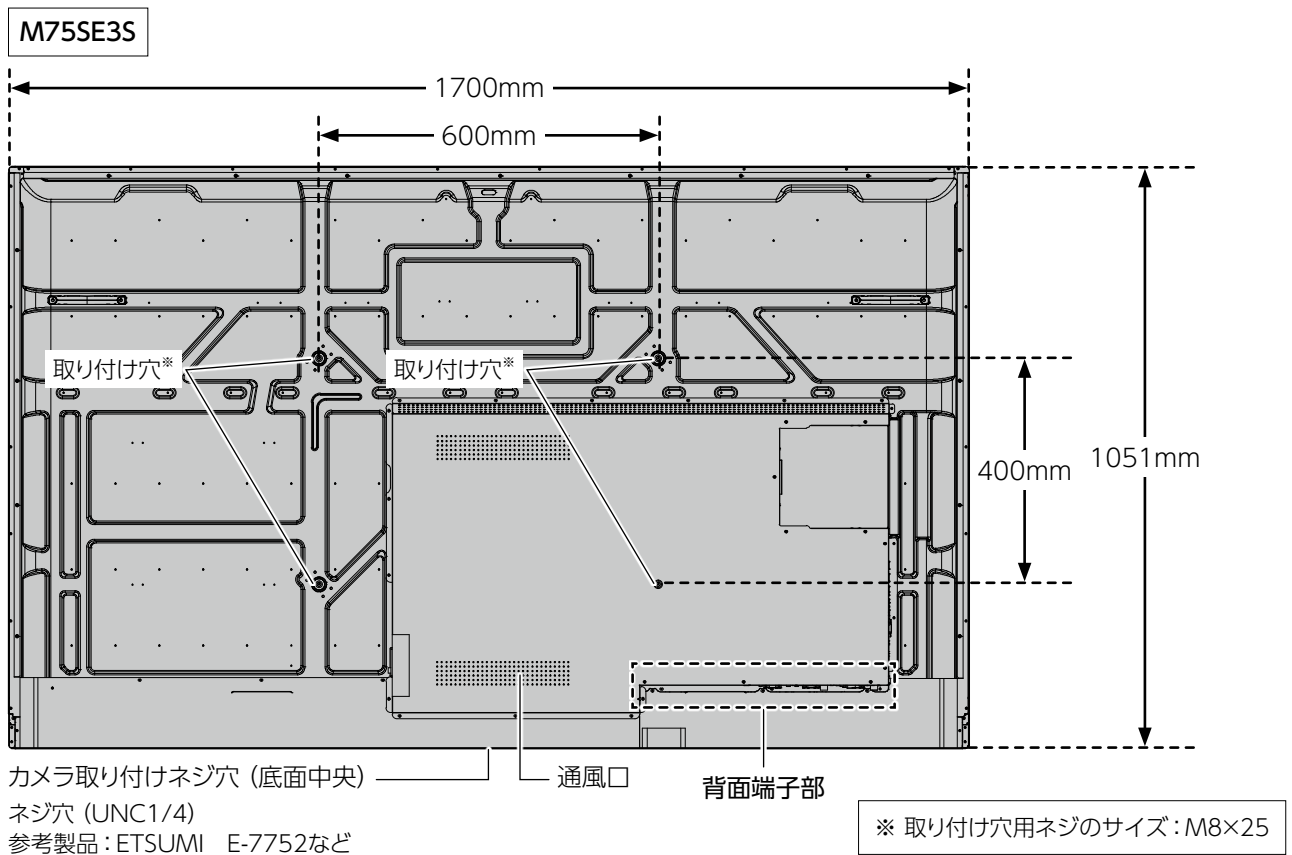
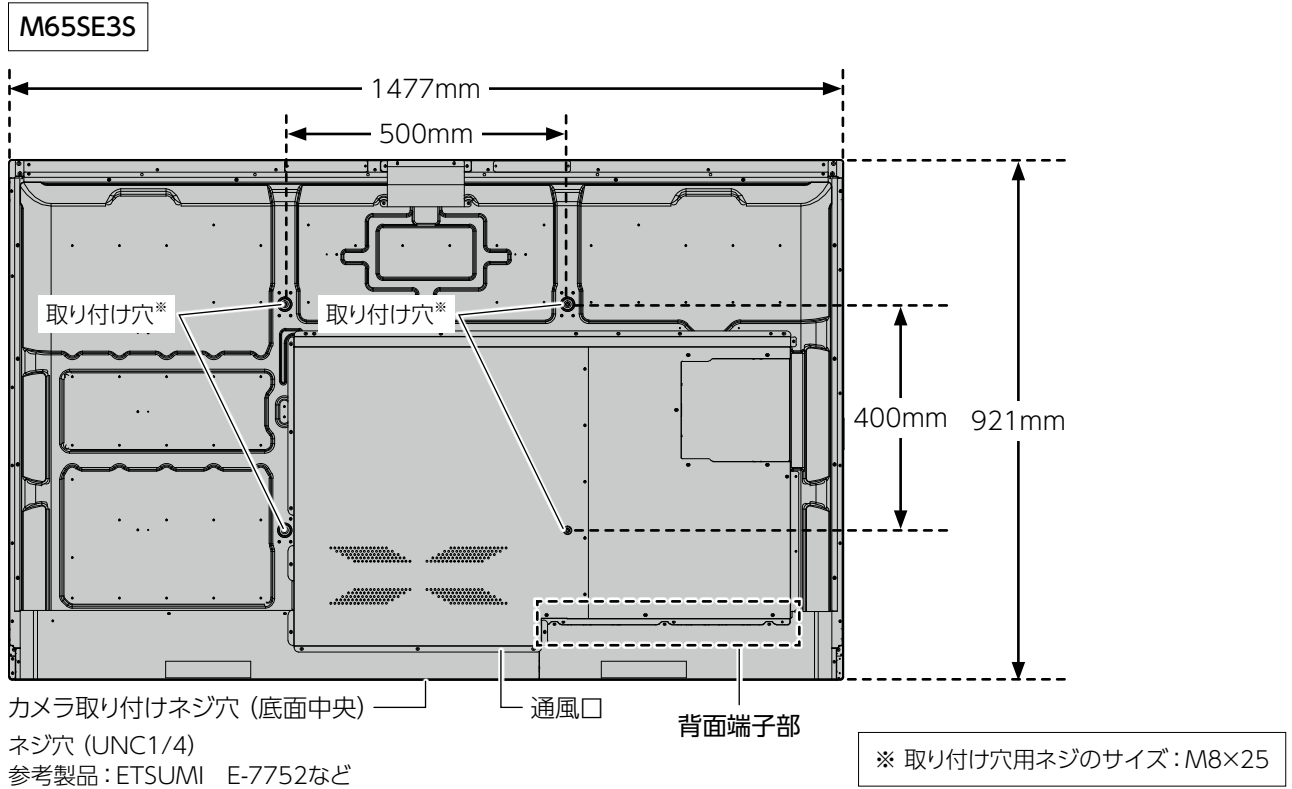
TOUCH端子 (USB type B)：
付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

HDMI入力端子1～2：
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
「入力切り換え設定」で「HDMI1～2」を選択してください。
HDMI接続では、音声も同時に入力します。

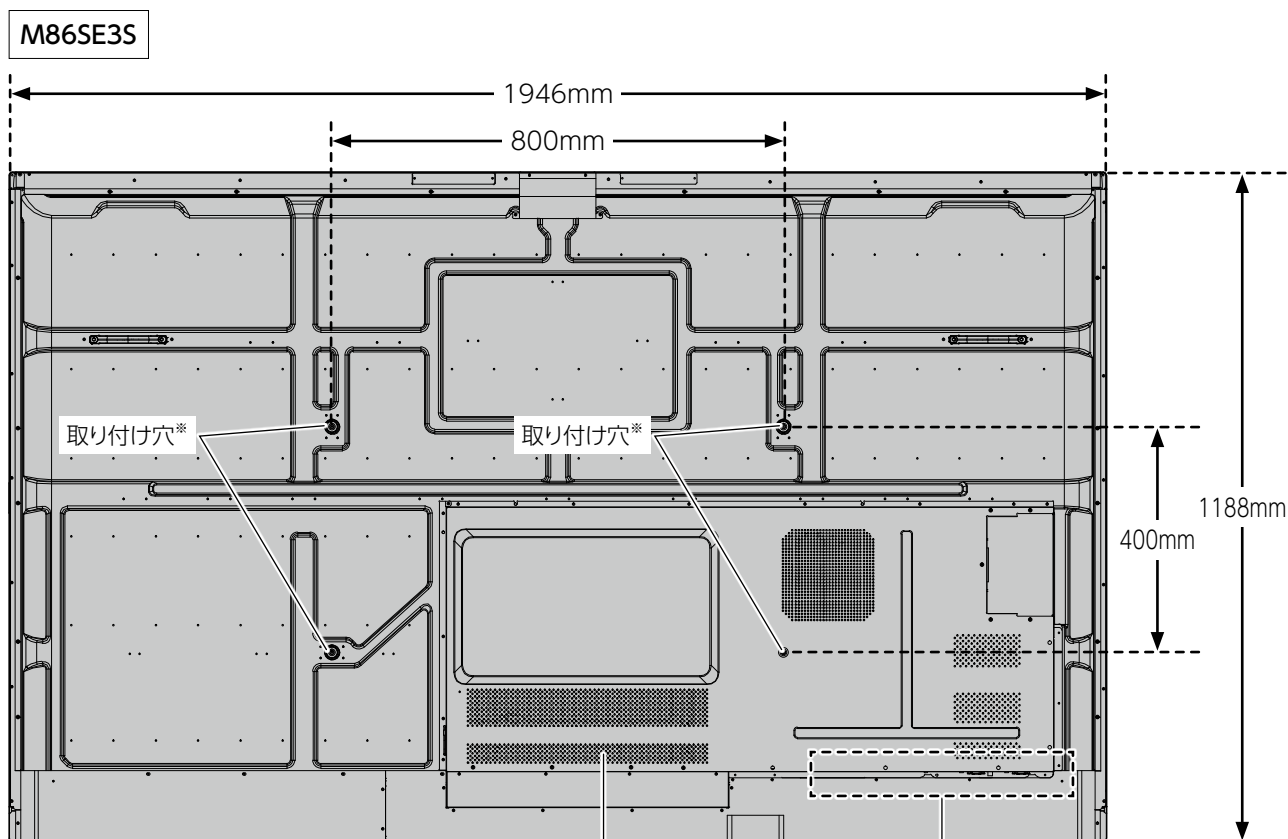
Display Port端子：
Display Portケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。

TYPE-C：
TYPE-C対応の機器を接続します。

背面



各部の名称と働き (続き)



カメラ取り付けネジ穴 (底面中央)
 ネジ穴 (UNC1/4)
 参考製品: ETSUMI E-7752など

通風口

背面端子部

※ 取り付け穴用ネジのサイズ: M8×25

背面端子部



MIC	マイクを接続すると、音声を入力できます。
LAN IN/LAN OUT	LANケーブルを使ってネットワークに接続します。
	ヘッドフォンケーブル(別売)を使ってPCなどを接続すると、接続した機器の音声を本機で再生できます。
RS232	本機をPCで制御するとき (メンテナンス時)に使用します。 ※ 通常は使用しません。
COAXIAL	同軸デジタルケーブルで音声を出力します。
AUDIO IN	ヘッドフォンケーブル(別売)を使ってPCなどを接続すると、接続した機器の音声を本機で再生できます。
VGA	ディスプレイケーブル(別売)を使ってPCなどを接続すると、接続した機器の画面を本機で表示できます。「入力切り換え画面」で「VGA」を選択してください。
TOUCH	付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

設置について



注意

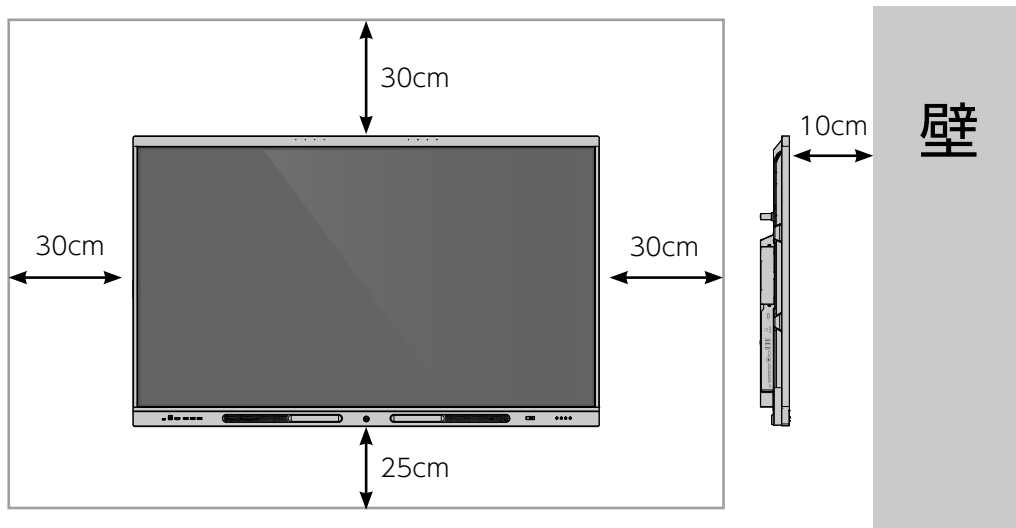
- 本機の設置や取りはずし、移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設置・取りはずし・移動は、必ず4名以上でおこなってください。
本体が落下してけがの原因になります。
- 本機を壁掛けしたり、天吊りにして使用する場合は、取り付け工事専門業者に依頼してください。取り付け、据え付けの不備による事故・損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 設置するときは、通風口をふさがないようにご注意ください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

設置条件

- 本製品は以下の環境でご使用ください。

周囲温度	0℃～40℃
周囲湿度	10～90%

- 雨や水しぶきが当たるおそれがあるところや湿度が高いところには設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲から以下の距離を離し、風通しの良い場所に設置してください。



スタンドについて

スタンドは当社指定のものをお使いください。

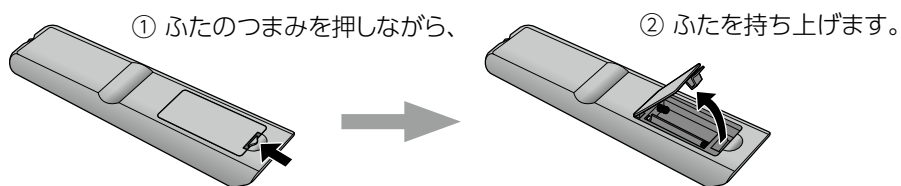
当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

- 取り付け方法については、スタンド付属の説明書をご参照ください。
- 当社指定以外のスタンドを使って設置した場合に起こった製品の損傷や損害については、保証期間中であっても責任を負いかねますので、ご注意ください。

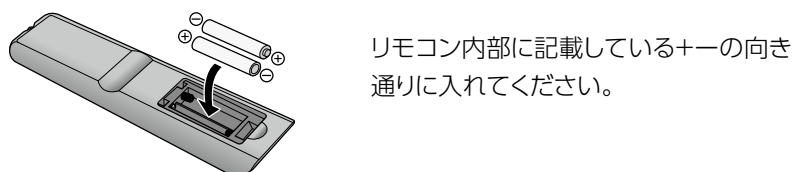
リモコンの準備と操作

電池を入れる

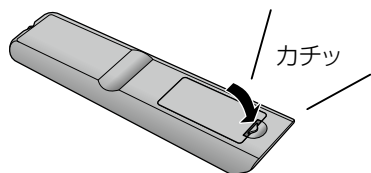
1. リモコン裏面のカバーを開けます。



2. 付属の単4乾電池2本を入れます。



3. カバーを取り付け、カチッと音がするまで閉めます。

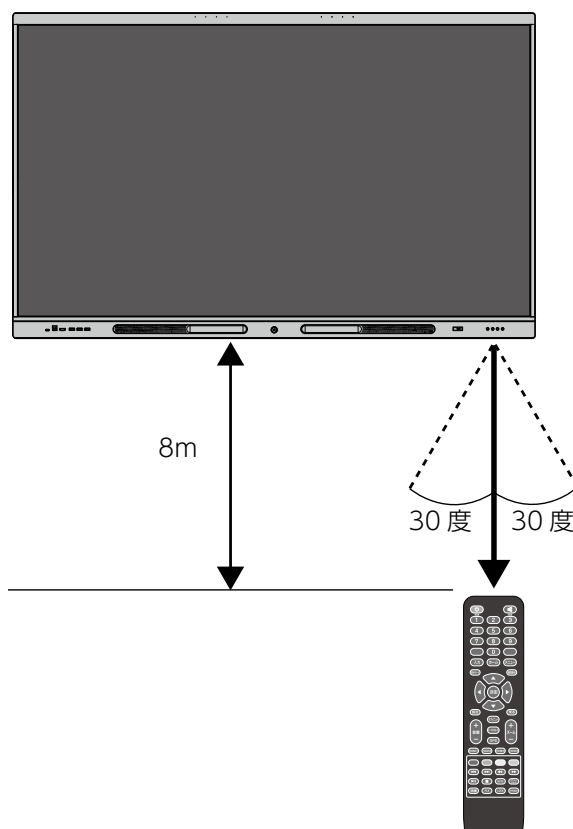


NOTE

- 付属の乾電池は保管状態により、短時間で消耗することがあります。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から8メートル以内で、上下左右30度の角度から操作可能です。



リモコン操作

電源ボタン
電源のオン・オフを切り換えます。

消音ボタン
音量を0にします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

ホームボタン
ホーム画面を表示します。

メニューボタン
コントロールパネルを表示します。

入力ボタン
入力ソースを切り替えます。

画面表示ボタン
入力モードを表示します。

表示モードボタン
表示モードが切り替わります。

決定ボタン
選択している項目で決定します。

設定ボタン
設定画面を起動します。

戻るボタン
1つ前の操作に戻ります。

サブメニューボタン
画質・音質メニューを表示します。

ズームボタン
ツールの拡大機能が起動します。

音量ボタン

F-TYPE-Cボタン
前面TYPE-C入力に切り替えます。

OPSボタン
OPS入力に切り替えます。

HDMI 1 ~ 4ボタン
HDMI1 ~ 4に切り替えます。

NOTEボタン
MIRAI NOTEが起動します。

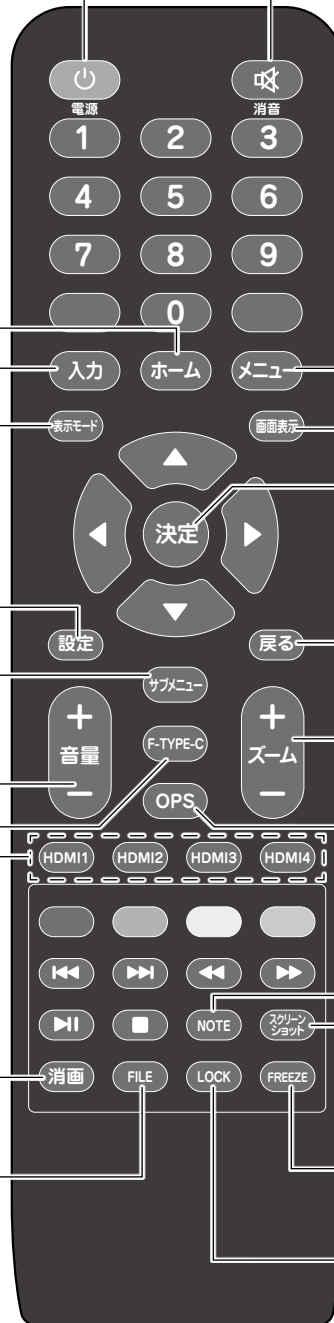
消音ボタン
画面をオフにして音声だけにします。

スクリーンショットボタン
画面キャプチャーを撮影します。

FILEボタン
ファイルアプリを起動します。

FRIEZEボタン
画面を一時停止します。

LOCKボタン
画面タッチとボタン操作をロックします。

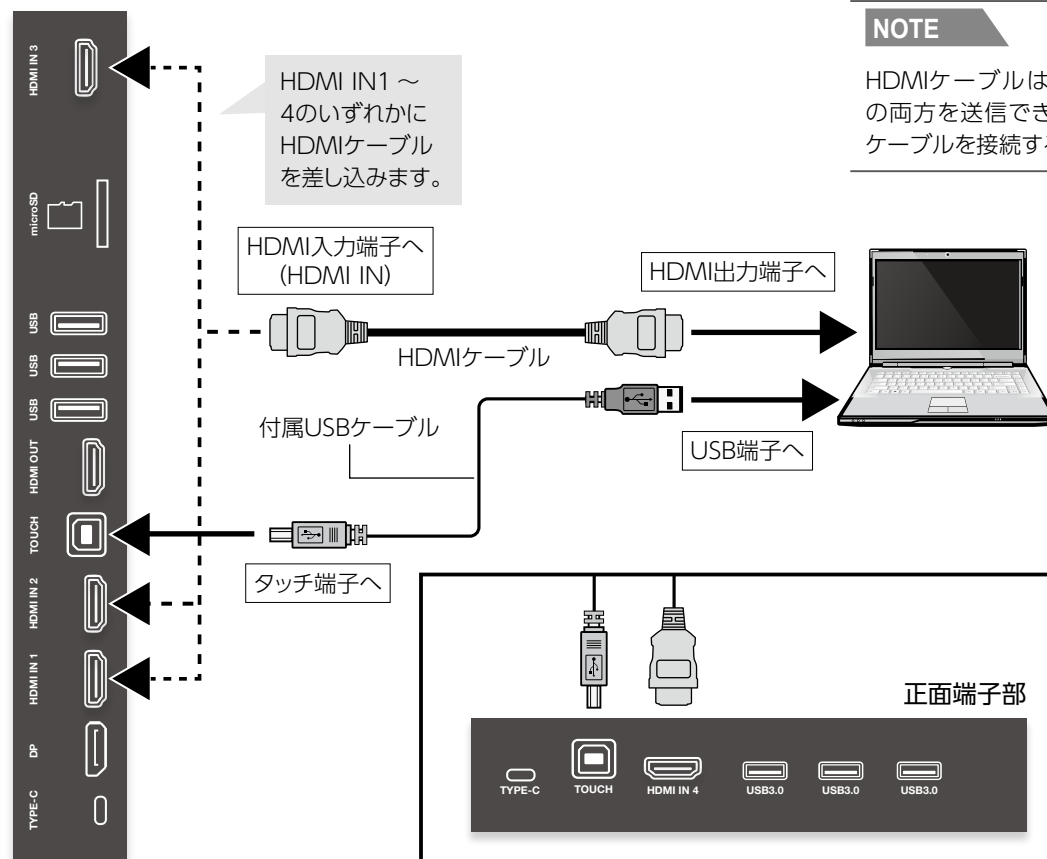


機器を接続する

PCの画面を本機で表示する (映像・音声入力)

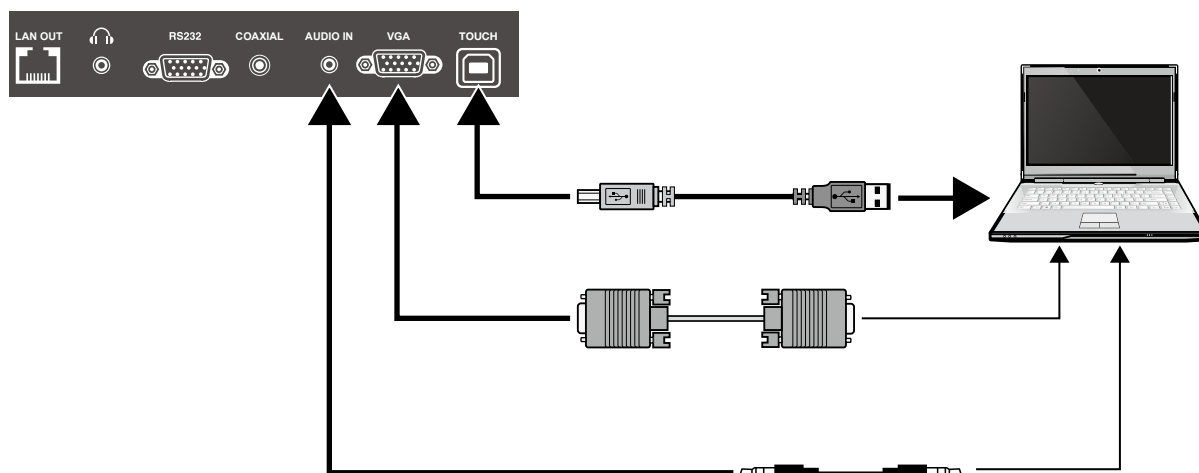
HDMI接続する場合

側面端子部



VGA、Display Port、音声ケーブル接続の場合

背面端子部



- 本体背面にあるVGA入力端子 (DPの場合は本体側面)に、ディスプレイケーブル (別売)を、音声入力端子にヘッドフォンケーブル (別売)をそれぞれ接続します。
- 本機側から接続したPCのタッチ操作をするときは、付属のUSBケーブルで、本機のタッチ端子 (TOUCH)とPC側のUSB端子を接続します。

NOTE

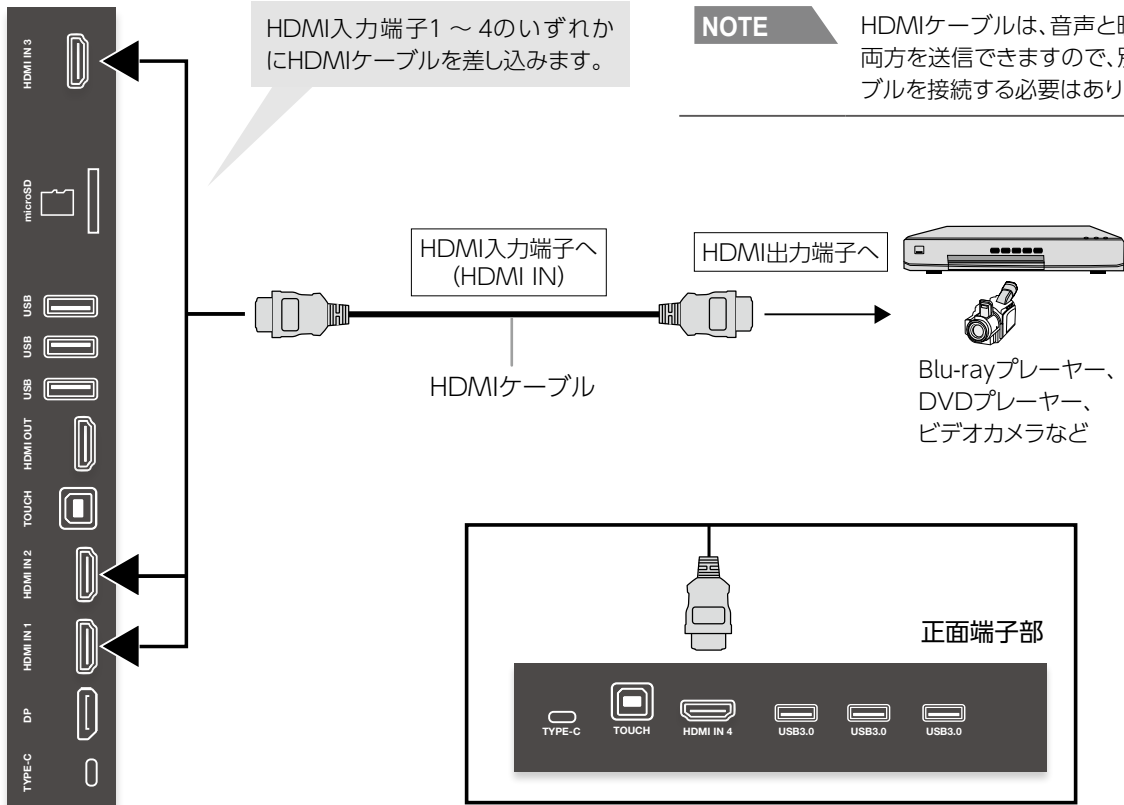
- 本機に接続するPCの推奨スペックは以下のとおりです。
 - ・ メモリ：1GB以上
 - ・ CPU：2.0 GHz以上
 - ・ ハードディスクの空き容量：1GB以上
 - ・ 256色以上のディスプレイカードを搭載

タッチ操作のドライバインストールについて
本機の電源がオンになっているときに、USBケーブルをPCに接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。

接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）

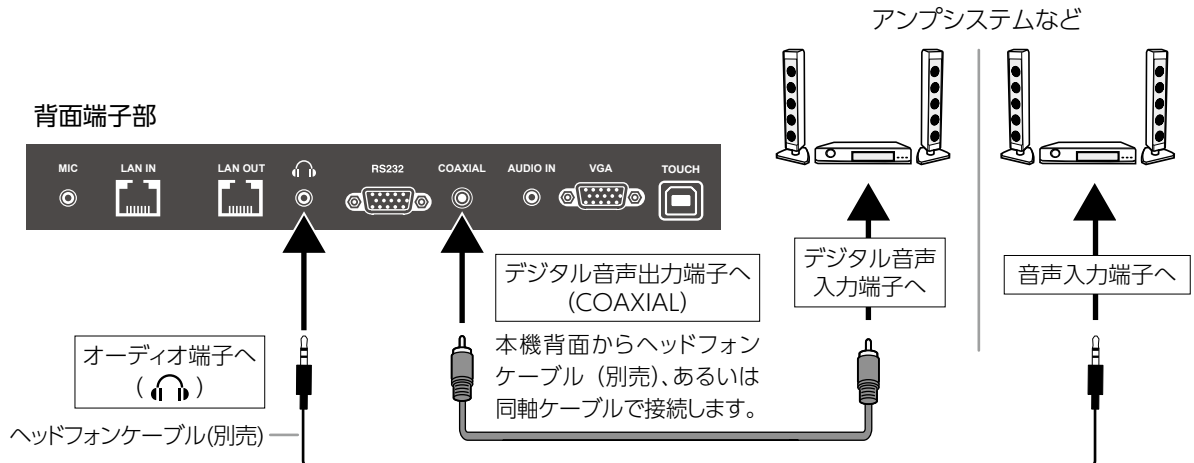
HDMI接続する場合

側面端子部



本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）

本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合

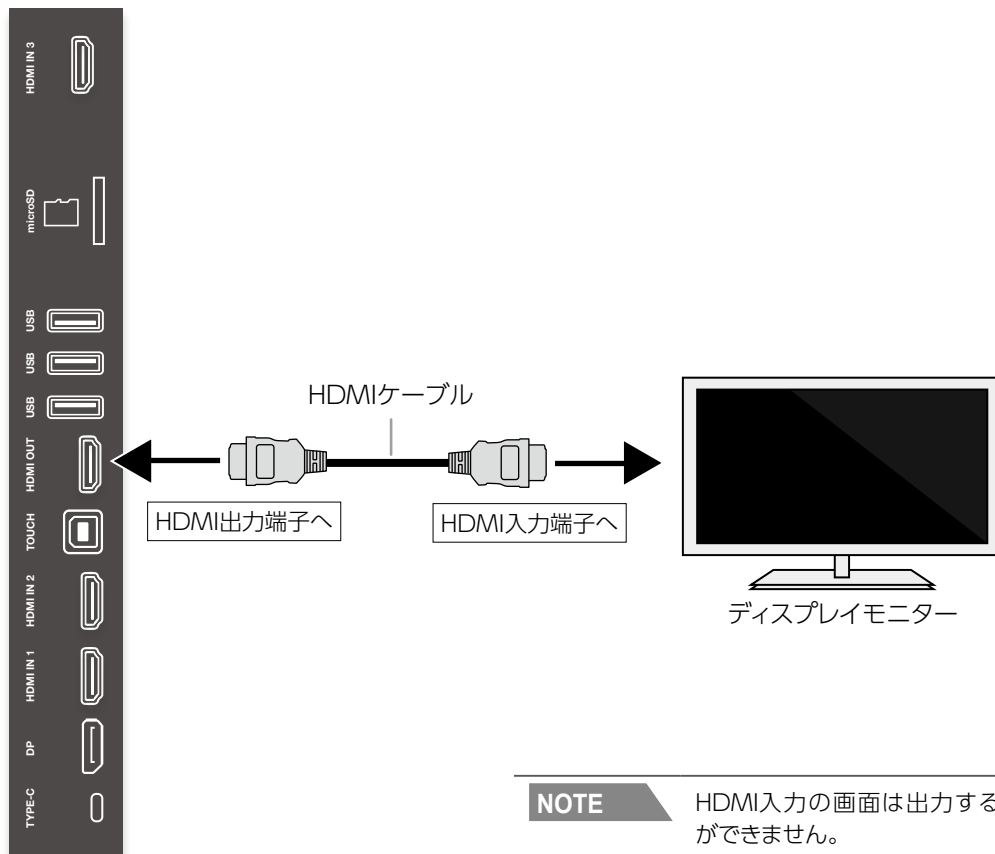


機器を接続する (続き)

本機の画面を外部モニターなどで表示する (映像出力)

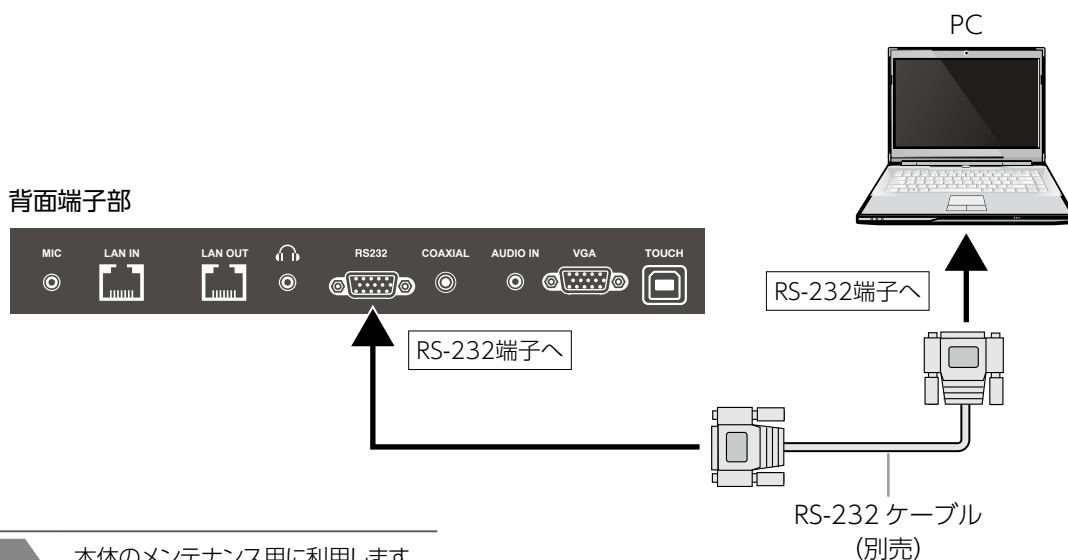
本機内蔵Android画面を出力する場合

側面端子部



本機をPCから制御する (シリアル制御/サービス用端子)

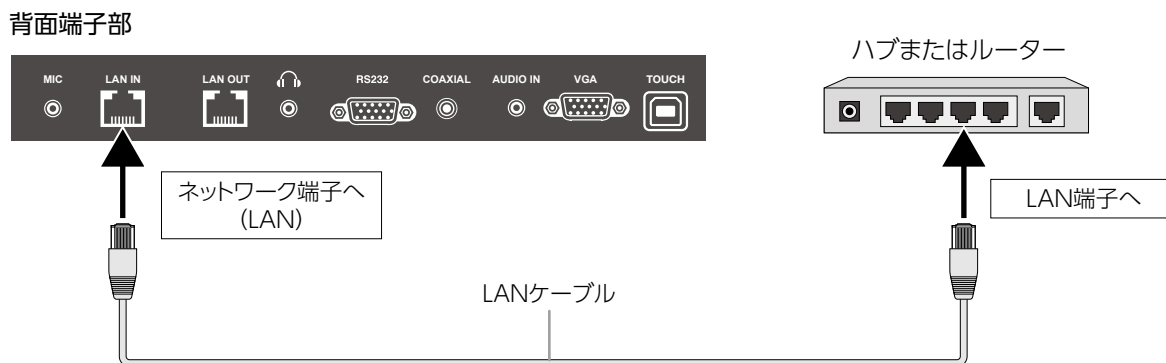
本機のシリアル端子とPCを接続すると、PCから本機の一部の機能 (電源オン/オフ、音量調節など) を制御することができます。



ネットワーク接続する

LANケーブルの接続

本機背面のネットワーク端子とハブまたはルーターのLAN端子をLANケーブル（別売り）で接続します。
ネットワーク設定は設定の「ネットワーク」の項目で設定します。
ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。



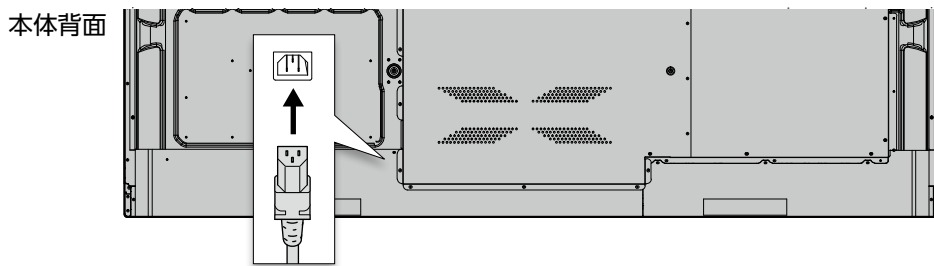
電源を接続する



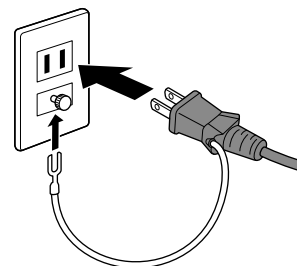
注意

- 電源コードは必ず本機付属のものをご使用ください。
- アースは必ず接続してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなってください。
また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

1. 付属の電源コードを電源端子に差し込みます。



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源の入／切

電源を入れる

リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押します。

電源を切る

リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを長押ししてシャットダウンします。



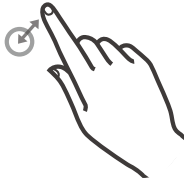
タッチ操作

本機では、指や付属のペンでタッチ操作ができます。

Windowsのタッチ操作の詳細については、Windowsのヘルプなどをご確認ください。

おもなタッチ操作

タップ (シングルタップ)

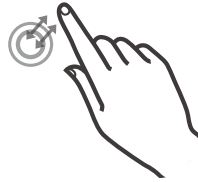


一度短くタッチします。

主な役割

- 項目やアイコンを選択
- Android OSでアプリを起動
- Windowsでマウスの左クリックの動作

ダブルタップ

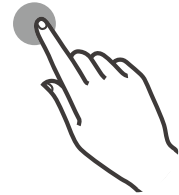


同じ場所をすばやく2回タッチします。

主な役割

- Windowsでマウスのダブルクリックの動作 (ファイルを開くなど)

長押し

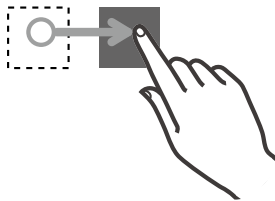


タッチしたまましばらく指を画面に触れたままにします。

主な役割

- Windowsで右クリックの動作

ドラッグアンドドロップ

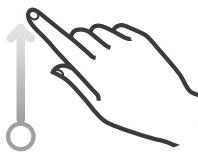


アイコンやスライドをタッチしたまま画面から指を離さずに移動して、指定の地点で指を離します。

主な役割

- アイコンの移動
- スライドを動かす

スワイプ/フリック



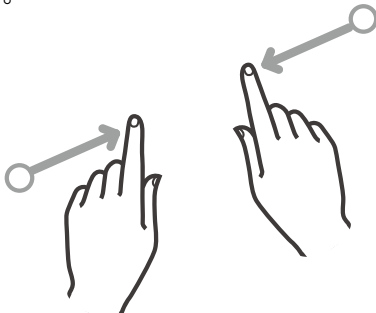
画面にタッチしたまま指を移動します (スワイプ)。指をすばやく払うようにすると、フリックになります。

主な役割

- ページをスクロール
- 画面下中央部からスワイプ/フリックしてクイック設定メニューを表示

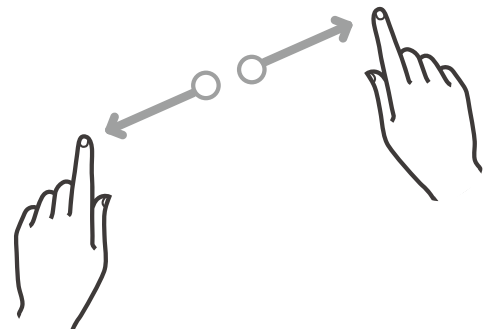
ズームイン

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を狭めます。



ズームアウト

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を広げます。



注意!

画面をタッチするときは、必ず指先か付属のタッチペンをお使いください。

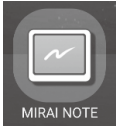



ツメやボールペンなど先の尖ったものや固いものでタッチすると、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。









基本的な操作方法

ホーム画面

電源をオンにすると、最初に本機内蔵Androidのホーム画面が表示されます。



 MIRAI NOTE	ホワイトボードのような使い方ができます。 → 28 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」	 入力切替	表示する画面を切り換えることができます。
 ファイル	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはmicroSDカード上のファイルを開覧することができます。 → 32 ページ「ファイルを参照する (ファイル)」	 アプリ	タップすると、アプリ一覧を表示することができます。

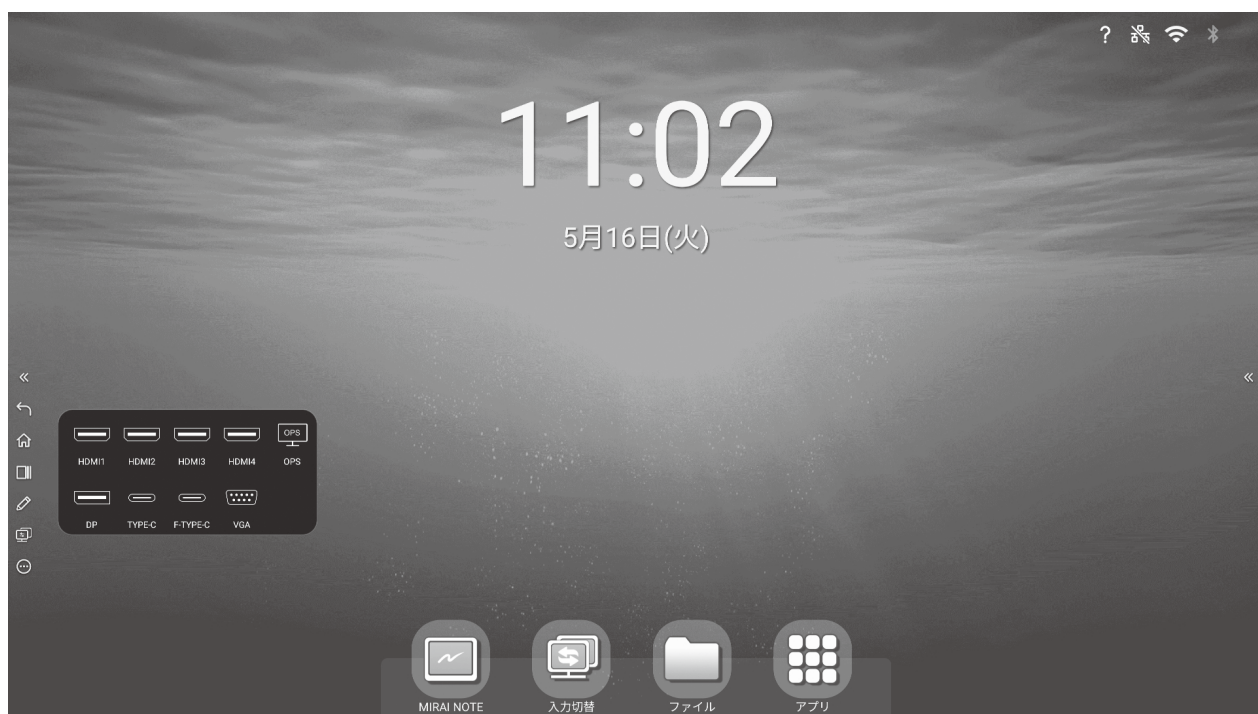
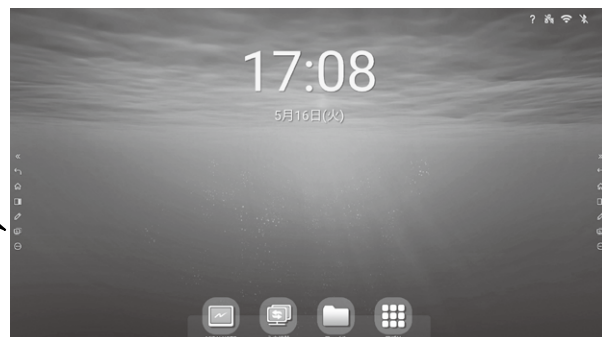
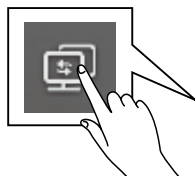
	有線LANが接続している。
	有線LANが無効になっている または、有線に接続しているが無効になっている。
	無線LANが無効になっている。 または、無線に接続しているが無効になっている。
	無線LANが接続している。
	無線LANが有効になっているが、ネットワークに接続していない。
	Bluetooth機能がオンになっている。
	Bluetooth機能がオフになっている。
	Bluetooth機能がオンになっており、対応機器とペアリング済みになっている。

クイックソース切り替え

表示する画面を切り換えることができます。

表示方法

サイドメニューから「ソース切り替えアイコン」を選択する。



基本的な操作方法 (続き)

サイドメニューを表示する

表示中の画面の右側または左側のサイドメニューアイコンをタップすることによって、サイドメニューを表示することができます。












- » — サイドメニューを閉じます。
- ← — 前の画面に戻ります。
- 🏠 — ホーム画面を表示します。
- 📑 — アプリを切り替えます。
- ✍️ — オーバーレイモードになり、画面をタッチして描画することができます。
- 📺 — 表示する画面を切り換えることができます。
- ⋮ — コントロールパネル画面を表示します。

コントロールパネルを表示する

サイドメニューからコントロールパネル画面を表示できます。



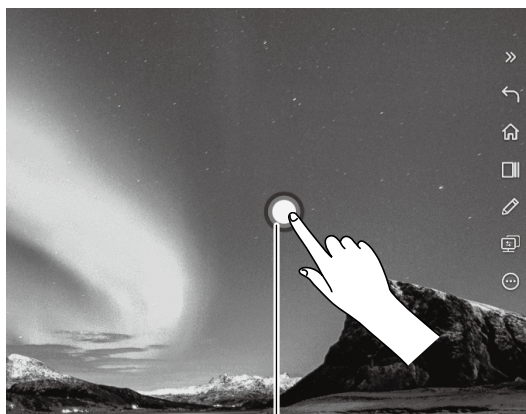
	画面のキャプチャをします。
	電卓が表示されます。
	EShareProアプリを起動します。 このアプリを使用すると、複数のデバイスの画面を電子黒板上に表示することができます。
	音声を録音できます。
	端末から電子黒板へ画像や動画を送ることができます。
	カメラアプリを起動します。 →34 ページ「カメラを使う (カメラ)」
	画面を拡大することができます。
	画面を録画することができます。
	ウェブページやソースのショートカットを作成できます。 作成したショートカットは長押しで削除できます。

基本的な操作方法 (続き)

ポップアップメニューを表示する







画面の「アシストタッチボタン」をタップすると、ポップアップメニューが表示されます。

「アシストタッチボタン」は設定の「アシストタッチボタン」を「オン」に設定しているときに表示されます。



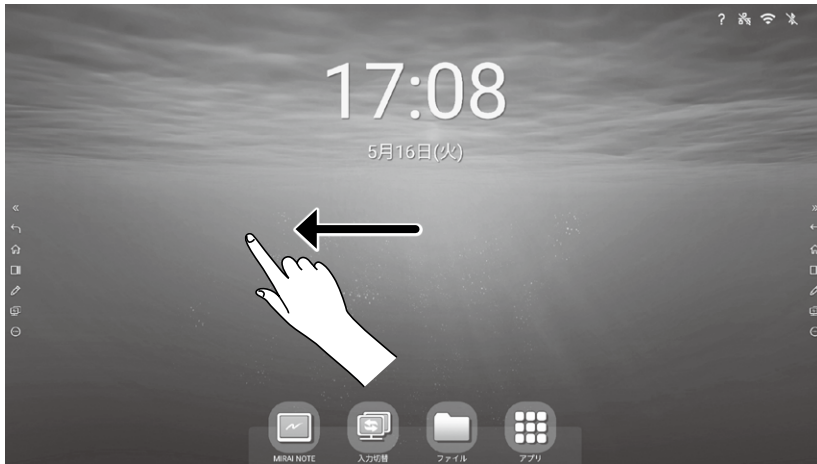
アシストタッチボタン











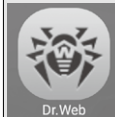
	ホーム画面を表示します。
	OPSの画面を表示します。
	MIRAI NOTEアプリを表示します。(28ページ)
	画面全体をキャプチャします。
	前の画面に戻ります。
	ポップアップメニューをカスタマイズします。

アプリ一覧画面を開く

ホーム画面で画面を右にスワイプすると、アプリ一覧画面が表示されます。



アプリの説明

	設定画面を表示します。 →37 ページ「詳細設定」		EShareProアプリを起動します。 このアプリを使用すると、複数のデバイスの画面を電子黒板上に表示することができます。
	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはmicroSDカード上のファイルを開覧することができます。 →32 ページ「ファイルを参照する (ファイル)」		Microsoft Officeファイルやpdfファイルを開くことができます。
	ホワイトボードのような使い方ができます。 →28 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」		カメラアプリを起動します。 →34 ページ「カメラを使う (カメラ)」
	サーバーやクラウドのフォルダを表示することができます。		Store内のアプリを本製品に追加インストールできます。
	インターネットブラウザを起動して、Webページを開覧します。 →33 ページ「ウェブページを見る (ブラウザ)」		ウイルス対策をすることができます。 → 35 ページ「アンチウイルス機能 (Dr.Web Security Space)」

※ 上記に記載がないアプリケーションについては、各アプリケーション事業者が提供する取扱説明書もしくはWebサイトをご確認ください。

ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)

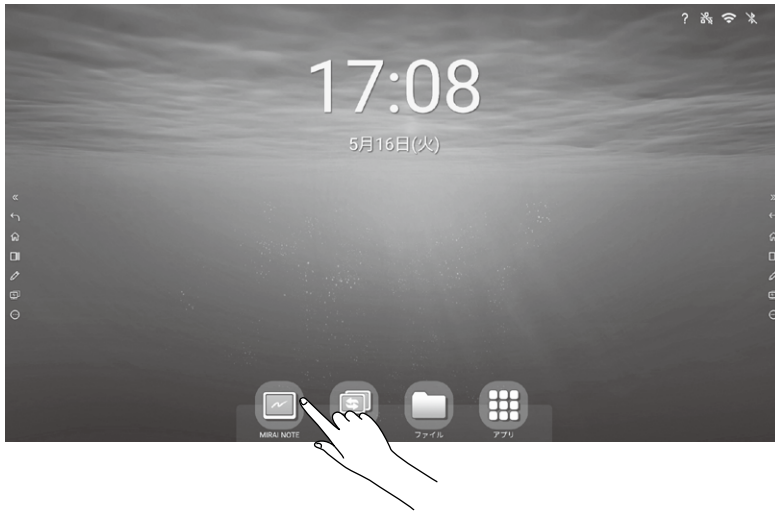
画面上をなぞることで、ホワイトボードと同じように線を描けます。

10点まで同時にタッチを感知できます。

描いた画は保存することができます。











起動方法

ホーム画面から「MIRAI NOTE」アプリをタップします。



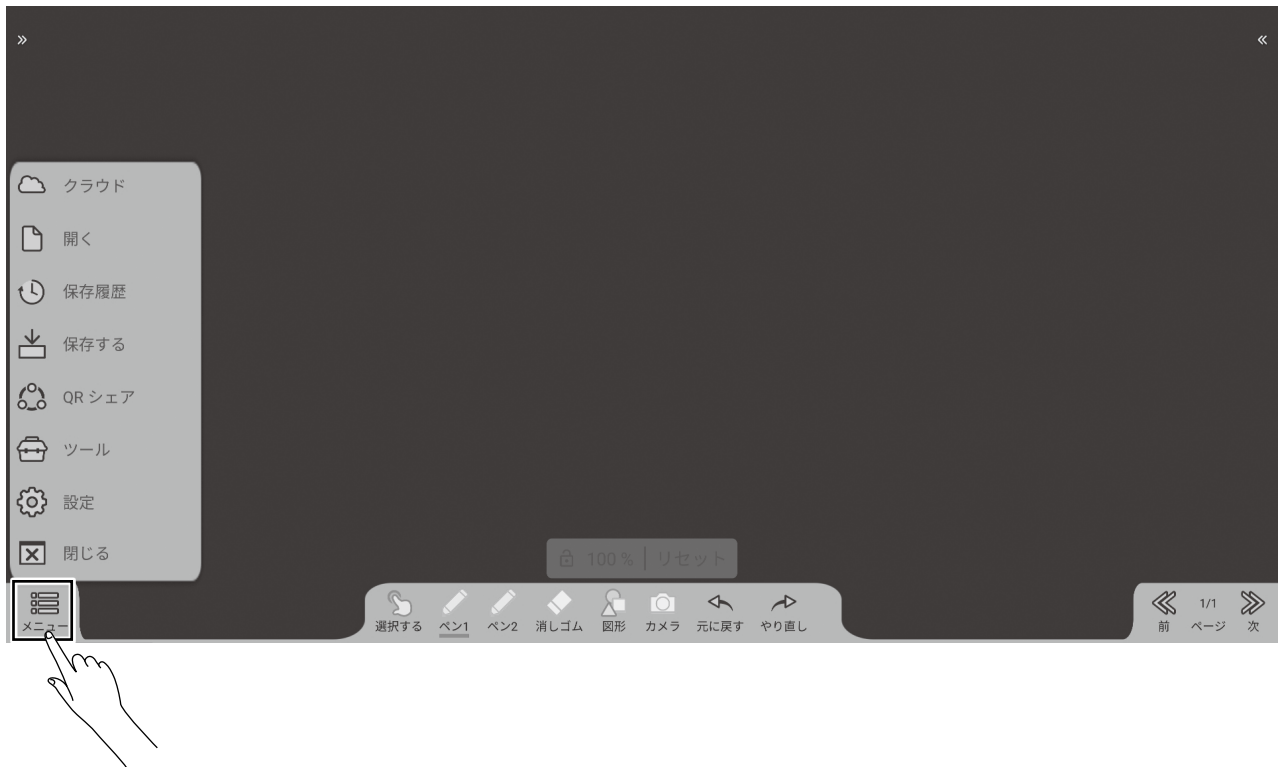
画面説明











	メニューを開きます。
	画面上のオブジェクトを選択します。
	シングルタッチで線を描きます。 選択している状態でもう一度タップすると、ペンの色を変えることができます。
	シングルタッチで線を描きます。 選択している状態でもう一度タップすると、ペンの色を変えることができます。
	描いた線を消します。
	さまざまな形の図形を描きます。
	カメラ画面を開きます。
	直前の操作を元に戻します。
	元に戻した操作を取り消します。
	前ページ/次のページに移動します。

メニューについて

メニューボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。

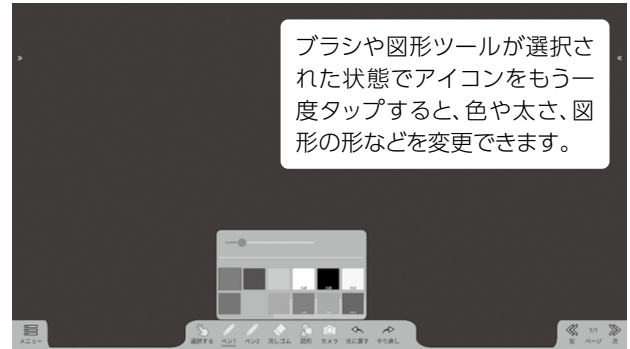
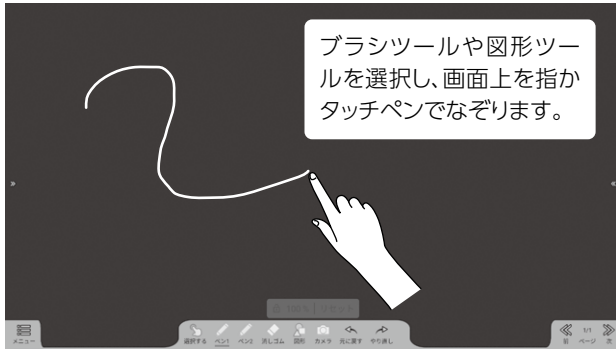


 クラウド	OneDrive、GoogleDriveのフォルダを表示します。
 開く	PDFファイルやIWBファイル、クラウドに保存したファイルを読み込みます。 画像データをボードに貼り付けます。
 保存履歴	保存履歴を表示します。
 保存する	作成したNoteファイルを保存します。
 QR シェア	作成したファイルをQRコードで共有します。
 ツール	ツールボックスを開きます。(31ページ参照)
 設定	各種設定を変更します。
 閉じる	ファイルを閉じてMIRAI NOTEアプリを終了します。

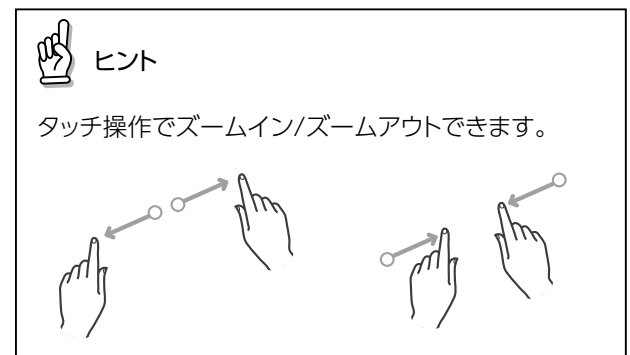
ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE) (続き)

描く、消す

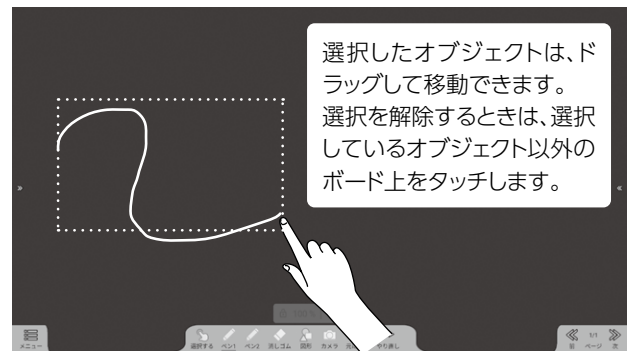
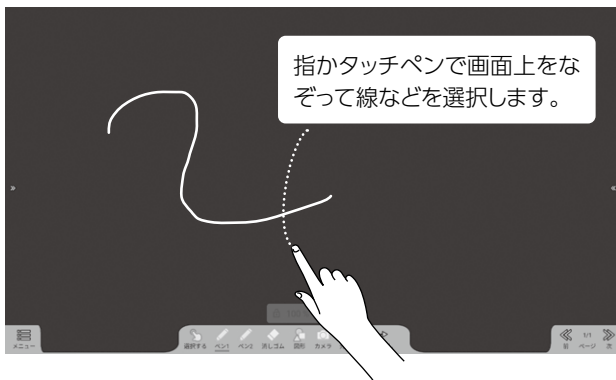
線や図形を描く



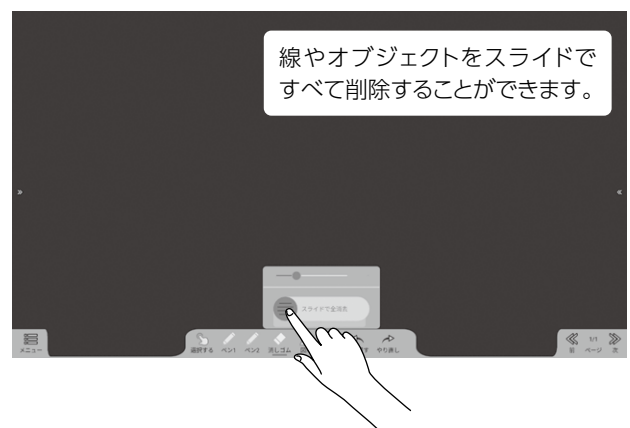
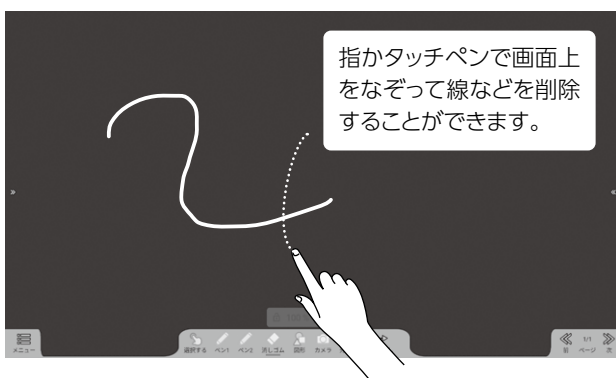
線を消す



選択モード




消しゴムモード



ツールボックス

「ツール」をタップすると、ツールボックスが表示され、以下のツールを使用することができます。



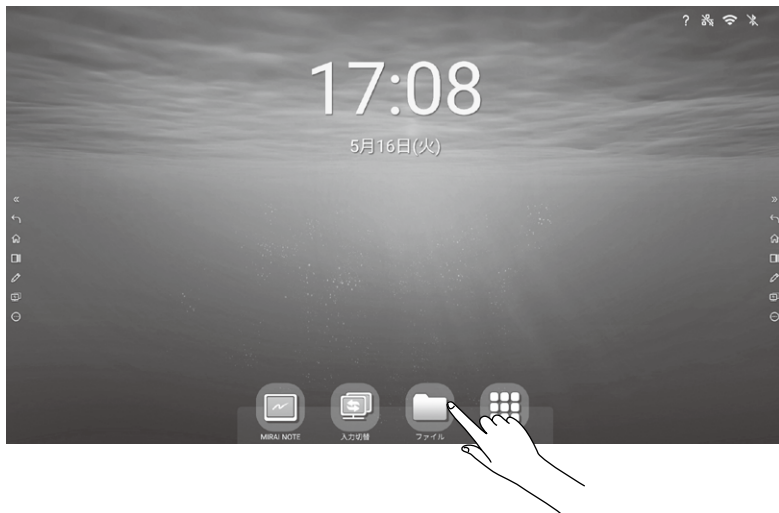
 スポットライト	画面の一部を表示します。
 カーテン	画面の一部を隠します。
 ストップウォッチ	タイマーとストップウォッチを使用できます。
 ランダム数字	ランダムに数字を選択することができます。
 投票	投票を実施します。
 検索	検索画面が表示されて、インターネット検索ができます。
 画面分割	画面を分割し、2人または3人同時に書き込みをすることができます。
 表	表を作成できます。

ファイルを参照する（ファイル）

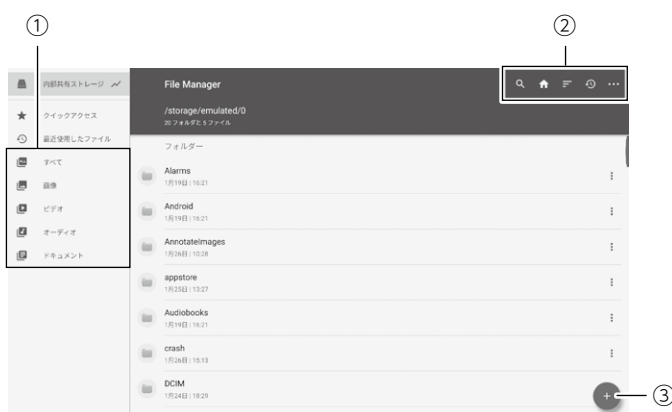
本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはmicroSDカード上のファイルを閲覧することができます。



起動方法






ホーム画面から「ファイル」アプリをタップします。



操作方法



 **ヒント**
サイドメニューの  ボタンを押すと元の画面に戻ります。

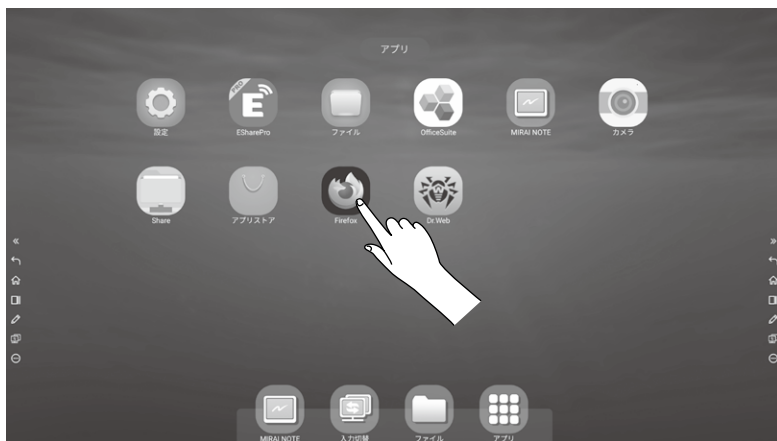
①	表示するファイルの種類を選択します。		
②		ファイルを検索します。	
		ホームとして設定されているフォルダを表示します。	
		ファイルやフォルダの並び替えの順番を設定します。	
		フォルダを開いた履歴を表示します。	
		メニューを表示します。	
		グリッド表示	ファイルやフォルダをグリッド状に表示します。
		隠しファイル	隠しファイルを表示します。
ホームとして設定		表示中のフォルダをホームとして設定します。	
設定		設定画面を表示します。	
終了	アプリを終了します。		
③	新しいフォルダを作成します。		

ウェブページを見る (ブラウザ)

ウェブページを見るためにはインターネットに接続している必要があります。

起動方法

アプリ一覧画面から「Firefox」アプリをタップします。



操作方法



- メニューを表示します。
- ページを更新します。
- 戻る／進むボタン
- ホームページを表示します。
- タップしてURLを入力します。
- 表示するタブを切り替えます。

ホーム画面に戻るときは、リモコンかサイドメニューのホームボタンを押してください。

カメラを使う（カメラ）

本機に接続されたUSBカメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「カメラ」アプリをタップします。



操作方法



①	プレビューで表示できます。 また、撮影したデータの削除やMIRAI NOTEへの貼り付けができます。
②	動画撮影モードになります。
③	静止画撮影モードになります。
④	起動時の画面幅に戻します。
⑤	縮小ボタンです。
⑥	拡大ボタンです。
⑦	解像度や上下左右反転などを設定します。

アンチウイルス機能 (Dr.Web Security Space)

本機にあらかじめインストールされている「Dr.Web」アプリを使用して、ウイルス対策をすることができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「Dr.Web」アプリをタップします。



「Dr.Web」アプリが起動します。



アンチウイルス機能は以下の機能があります。

- ・スキャナ
- ・URLフィルター
- ・Firewall
- ・Security Auditor

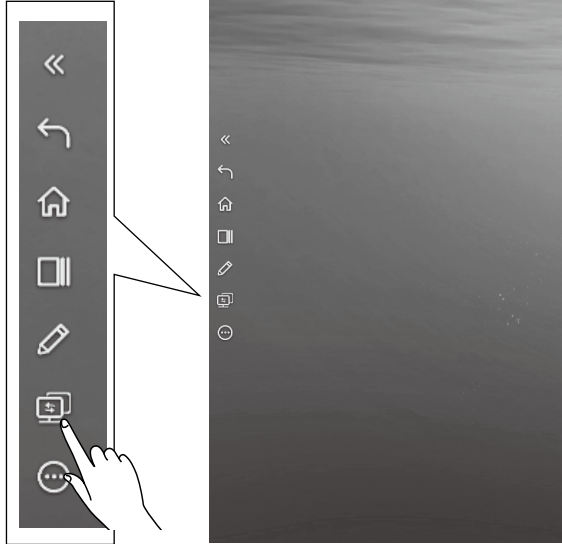
詳しい機能については、製品ホームページに掲載されている情報をご覧ください。

画面を切り換える

本機に映像入力している機器の画面の切り換えをおこないます。

サイドメニューから切り替える場合

サイドメニューから「表示切替メニュー」を選択します。



画面に表示する入力ソースを選択します。



リモコンから切り替える場合

リモコンの入力ボタンを押します。
入力ソースの画面が表示されます。



画面に表示する入力ソースを選択します。



詳細設定

起動方法

アプリ一覧画面から「設定」アプリをタップします。



「設定」画面が表示されます。

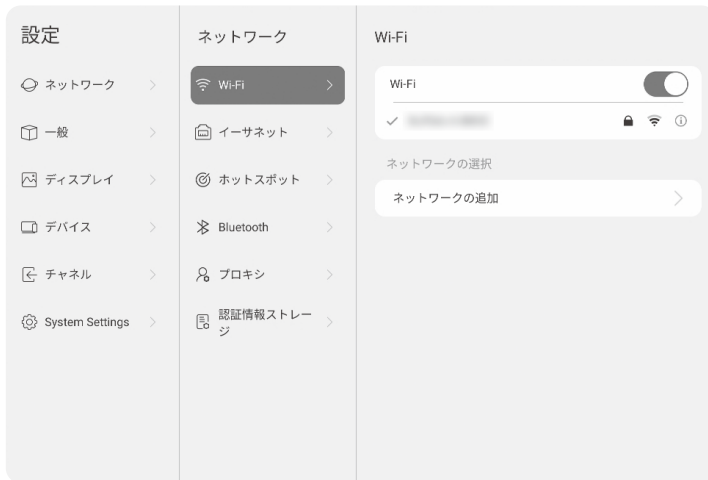


詳細設定 (続き)

ネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fiの設定をします。



Wi-Fi	Wi-Fi接続のオン/オフを切り換えます。 表示されているSSID名を選択すると、選択したWi-Fiに接続します。
ネットワークの追加	手動でネットワークを追加します。

イーサネット

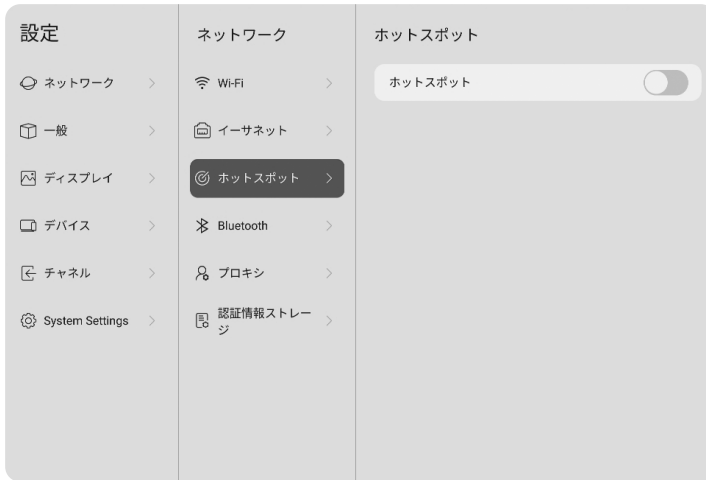
有線LANの設定をします。



イーサネット	有線LANを使用する場合は、オンにします。
オートIP	オンにすると、IPアドレスをルーターから自動的に取得します。 (「イーサネット」を「オン」に設定しているときに表示されます)

ホットスポット

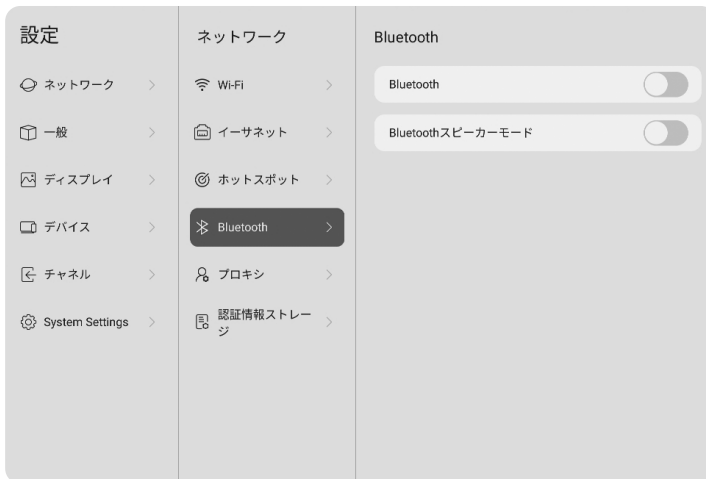
ホットスポットの設定をします。



ホットスポット	オンにすると、本製品をアクセスポイントとして、他の端末から無線接続使用することができます。
ホットスポット設定	ホットスポット名やパスワードを設定します。 (「ホットスポット」を「オン」に設定しているときに表示されます)

Bluetooth

Bluetoothの設定をします。



Bluetooth	Bluetooth機能のオン/オフを切り替えます。
Bluetoothスピーカーモード	オンにすると、Bluetooth接続した端末の音声を本製品のスピーカーで出力することができます。

詳細設定 (続き)

プロキシ

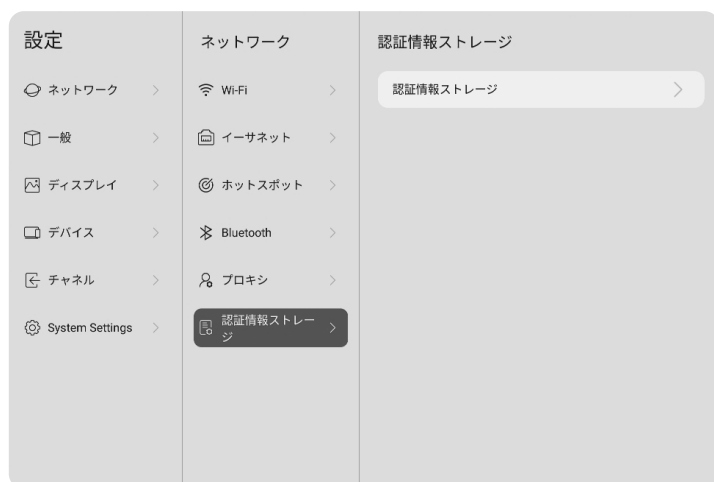
プロキシの設定をします。



無線LANプロキシ	無線接続のときにプロキシホスト名やプロキシポートを設定できます。
有線プロキシ	有線接続のときにプロキシホスト名やプロキシポートを設定できます。

認証情報ストレージ

認証情報ストレージの設定をします。



認証情報ストレージ	デジタル証明書をインストールしたり、認証情報を消去します。
-----------	-------------------------------

一般

日付と時刻

本機で表示される日付と時刻を設定します。



24時間表示	オンにすると時間を24時間表示にします。
日時の自動設定	オンにするとネットワークから自動的に時刻を取得し、時計を合わせます。 手動で設定することもできます。

言語と入力

本機で表示する言語と文字の入力方法を設定します。



言語	本機で表示する言語を設定します。
入力方式	文字を入力するときのソフトキーボードを設定します。

詳細設定 (続き)

アシストタッチボタン

アシストタッチボタン機能のオン/オフを設定します。



アシストタッチボタン	アシストタッチボタンのオン/オフを切り替えます。 (26ページ)
------------	-------------------------------------

システムサウンド

オンに設定すると、ボタンを押したときに音が鳴ります。



システムサウンド	オンにするとボタンをタップしたときに音が鳴ります。
----------	---------------------------

ジェスチャー

画面をスワイプしたり、長押ししたときの動作を設定します。




HOME画面を右にスワイプ	HOME画面を右にスワイプしたときに表示する画面を選択します。
5本指で長押し	5本指で長押ししたときの動作を設定します。

ツールバー

ツールバー表示のオン/オフを切り替えます。



サイドバー	サイドバーのオン/オフを切り替えます。
ボトムサイドバー	ボトムサイドバーのオン/オフを切り替えます。 

詳細設定 (続き)

スクリーンセーバー

設定した時間内に画面操作を行わない場合、スクリーンセーバーが表示されます。



スクリーンセーバー画面



ディスプレイ

壁紙

ディスプレイに表示する壁紙の画像を設定します。

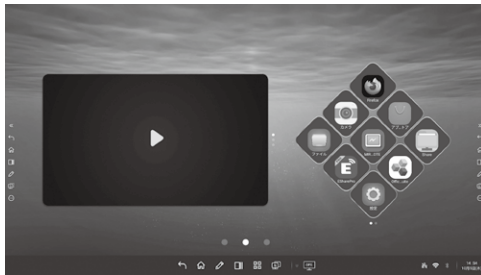


テーマ

UIのテーマを選択します。



テーマは3パターンから選択できます。



アプリ起動

アプリ起動後の表示方法を切り替えられます。

※ 一部アプリを除く



詳細設定 (続き)

コメントモード

コメントを入れるときのモードを選択します。



色反転

色を反転させます。



色補正

青と緑、赤と黄の区別がつかない方の補助になります。



高コントラストテキスト

テキスト表示が強調されます。



ブルーライトカット

ブルーライトカットの設定ができます。



デバイス

OPS

本製品に内蔵しているPCの設定をします。



起動時OPS電源オン

オンに設定すると、本製品の電源をオンにしたときに、同時に内蔵PCの電源もオンにします。

詳細設定 (続き)

カメラ

本製品に接続しているカメラを選択して使用します。

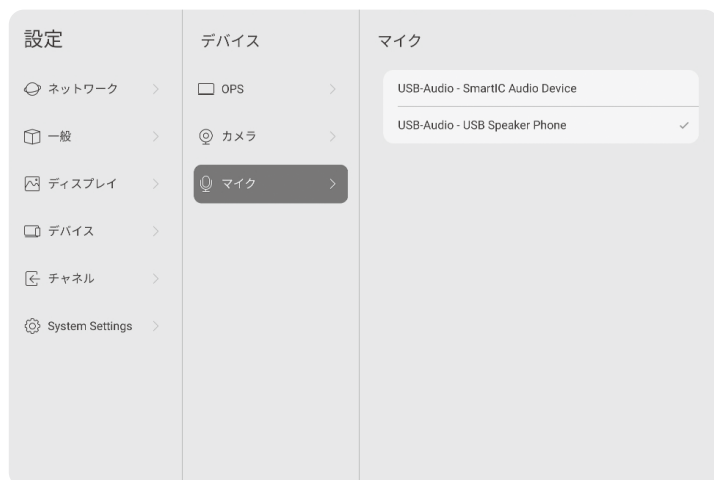


水平反転	カメラのライブ画面が左右反転になります。
垂直反転	カメラのライブ画面が上下反転になります。

※ 最大で2台のUSBカメラを接続できます。

マイク

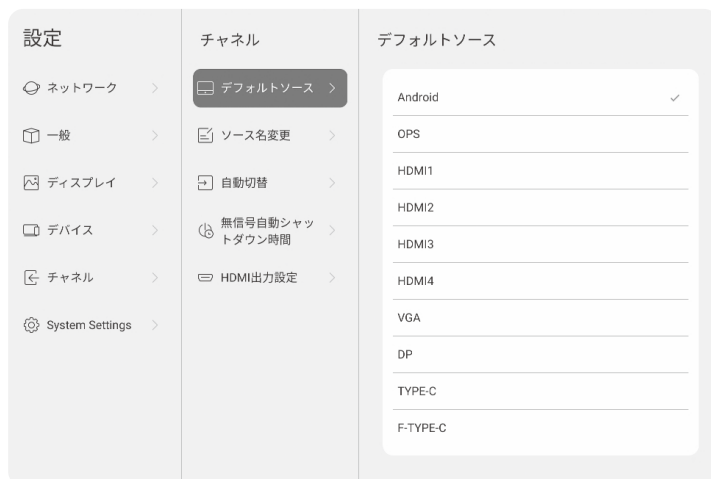
本製品で使用するマイクを選択します。



チャンネル

デフォルトソース

電源をオンにしたときに表示する入力ソースを選択します。



ソース名変更

入力切替画面に表示するソース名を変更します。



詳細設定 (続き)

自動切替



接続時自動切替

オンにすると、映像入力信号を感知したときに自動的に入力ソースを切り替えます。

無信号自動シャットダウン時間

映像入力信号がない場合に、自動的にシャットダウンするまでの時間を設定します。



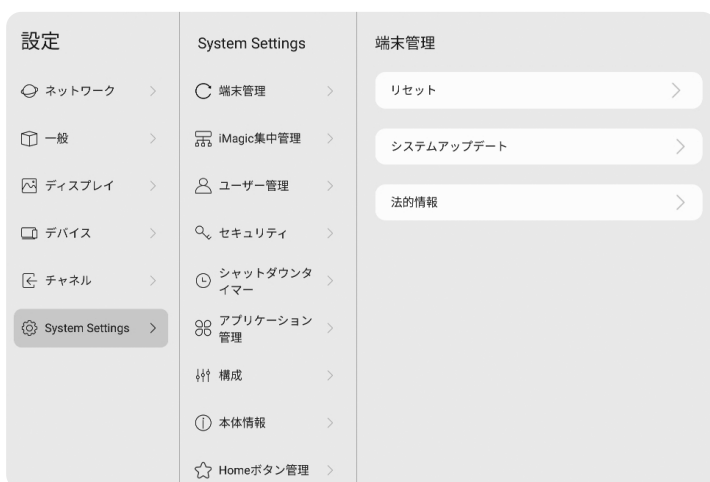
HDMI出力設定

HDMIの出力設定を行います。



System Settings

端末管理



リセット	本製品の設定を工場出荷状態に戻します。
システムアップデート	システムのアップデートを行います。
法的情報	法的情報を表示します。

iMagic集中管理

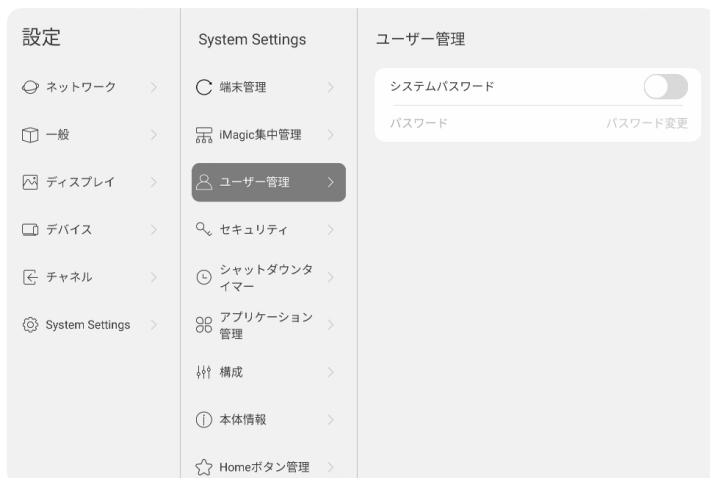


iMagic集中管理	今後のサービスを予定しています。
------------	------------------

詳細設定 (続き)

ユーザー管理

4桁のシステムパスワードを設定します。



注意！

セキュリティと端末管理のリセットで利用します。
 利用する場合は設定してください。
 (設定値は忘れないようにしてください)

セキュリティ

設定を変更する場合は、4桁のシステムパスワードを入力する必要があります。



USBポートロック	オンにすると、USBメモリーへのアクセスを無効にします。
アプリインストール ロック	オンにすると、アプリを新たにインストールできなくなります。
アプリケーション起動 ロック	アプリの起動にロックを設定します。 ※ 初期設定時はパスワードを設定します。 また、アプリの非表示設定をすることができます。
起動時ロック画面	オンにすると、起動時にロック画面を表示します。
USB KEY LOCK	本体ロックがかかる設定に変更できます。 設定した場合、解除ファイル (USB)がないと電子黒板が利用できなくなります。 解除ファイル (USB)につきましては弊社営業までお問い合わせください。
ネットワーク ロック	オンにすると、ネットワークの項目にロックがかかります。

シャットダウンタイマー

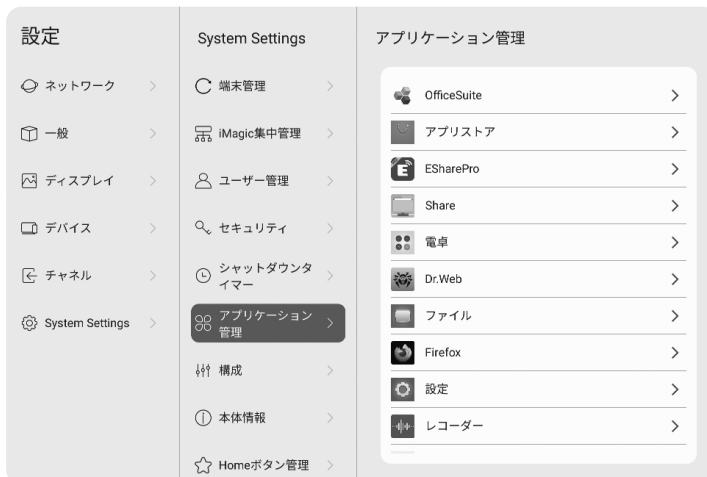
オンタイマーとオフタイマーを設定します。



起動タイマー	オンにすると、設定した時間に電源がオンになります。
起動時間	電源をオンにする時間を設定します。
シャットダウンタイマー	オンにすると、設定した時間に電源がオフになります。
シャットダウン時間	電源をオフにする時間を設定します。

アプリケーション管理

本製品にインストールされているアプリの設定をします。



詳細設定 (続き)

構成

設定のエクスポート/インポートをします。



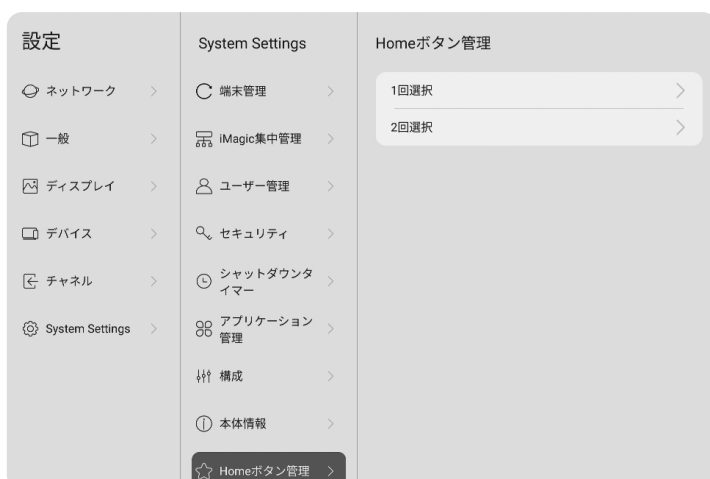
本体情報

本製品の情報を表示します。



Homeボタン管理

Homeボタンを1回または2回押したときの動作を設定します。



故障かなと思ったら

正常に動作しない	
症状	対策
リモコンがうまく動作しない	リモコンとリモコン受信部の間に障害物がないか確認する。
	リモコン受信部に向けてリモコンを操作する。
	リモコンの電池が+-正しい向きで入っているかどうか確認する。
	電池を交換する。
本機が自動的にシャットダウンする	PCユニット搭載モデルの場合は、本機内蔵のWindowsがスリープ状態になっていないか確認する。
	停電になっていないか確認する。
	自動シャットダウンの制御信号が送られていないか確認する。

映像入力した機器の画面がうまく表示されない	
症状	対策
画面に「信号無し」と表示される	ケーブルが正しく接続されているか確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
背景に縦線や筋が出る	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	本機の周囲に他の電子機器や電気製品があるかどうか確認する。 → 他の機器から電波の影響を受けることがあります。他機器から離したり、位置を変えてみてください。
画像に色がなく、または色が正しくない	VGA端子が確実に接続されているか、コネクタに問題がないか確認する。
	サブメニューの「画像」設定で「明るさ」、「コントラスト」、「彩度」、「シャープネス」を調整する。
その他映像が乱れる	適切なディスプレイケーブルであることを確認する。

音が出ない	
症状	対策
画像も音声も出ない	本機の電源がオンになっているか、あるいはスタンバイモードになっていないかを確認する。
	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
	PCモードの場合は、本機内蔵Windowsまたは接続しているPCが起動しているか確認する。
映像は出るが音が出ない	リモコンの消音ボタンを押して、ミュートになっていないか確認する。
	リモコンあるいは本機フロントパネルの音量調節ボタンで音量を調節する。
	音声ケーブルが正しく接続されているかどうか確認する。 →VGA接続の場合、音声はVGAケーブルとは別にヘッドフォンケーブルで接続する必要があります。

故障かなと思ったら (続き)

片方のスピーカーからしか音が出ない	音声ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	サブメニューの「音」設定で音声バランスを調整する。
	PCモードの場合は、PCのサウンド設定を確認する。

タッチ操作がうまくできない

症状	対策
タッチが認識されない・正常に認識されない	タッチ機能が無効になっていないか確認する。 →リモコンのLOCKボタンを一回押してタッチできるか確認します。
	タッチした部分のサイズが指のサイズに比べ小さすぎないか確認する。
	タッチペンのペン先に異常がないか確認する。
	接続しているPCのタッチ操作が認識されない場合 ・本機のタッチ端子とPC側のUSB端子が付属のUSBケーブルで接続されているか確認する。 ・タッチドライバが正常にインストールされ、ソフトウェアが起動していることを確認する。
	画面内に直射日光が当たっていないか確認する。 →本機は赤外線でタッチ位置を検出しているため直射日光が動作に影響をおよぼす場合があります。

お手入れ方法

長くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。

クリーニングおよびメンテナンスの前には、感電防止のため電源プラグを抜いておいてください。

注意！

- お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと、液晶ディスプレイの表面に傷がつくおそれがあります。

液晶ディスプレイやキャビネットのお手入れ
乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。



長期間使用しない場合

本機を長時間使用しない場合は、必ずプラグを抜いてください。

仕様

モデル名	M65SE3S	M75SE3S	M86SE3S	
電源入力	AC 100V 50/60Hz			
消費電力	通常	250W	310W	470W
	スタンバイ時	0.5W未満	0.5W	0.5W
使用環境 条件	温度	0℃～40℃		
	湿度	10%～90% (結露がないこと)		
音声出力	左/右：20W+20W サブウーファー：20W			
VESA規格(mm)	500×400	600×400	800×400	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)(mm)	1477×921×93 梱包時：1646×1050×225	1700×1051×93 梱包時：1873×1204×225	1946×1188×93 梱包時：2120×1320×225	
質量	約38kg 梱包時：約48kg	約50kg 梱包時：約64kg	約60kg 梱包時：約77kg	
ディスプレイ				
サイズ	65型	75型	86型	
画面寸法(幅×高さ)(mm)	1429×804	1649.5×927.3	1896.5×1066.5	
画素数(水平×垂直)	3840×2160			
輝度	450 cd/m ²			
コントラスト比	1200 : 1			
表示色	約10.7億色			
視野角	左右178度 / 上下178度			
タッチ システム	マルチタッチ	最大20点マルチタッチ (赤外線遮断検出方式)		
	接続端子	USB 2.0 Full Speed		
	保護ガラス	3.2mm厚強化ガラス		
機能				
Wireless	IEEE802.11b/g/n/a/ac/ax			
Bluetooth	Bluetooth 5.0			
マイク	8Array マイク			
本体端子				
入力端子	VGA	15pin mini D-Sub×1		
	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×4		
	DisplayPort	Display Port×1		
	AUDIO	3.5φステレオミニジャック×1		
出力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×1		
	AUDIO	デジタル出力端子 (COAXIAL)×1 3.5φステレオミニジャック×1		
USB端子	USB 2.0	USB Aタイプ×1		
	USB 3.0	USB Aタイプ×4		
	TYPE-C	USB Cタイプ×2 (Front/Side : Total MaxPower : 90W)		
	TOUCH	USB Bタイプ×2		
シリアル 端子	RS232	D-SUB9ピン (RS232)×1		
LAN端子	LAN	RJ45×2 (1000Base-T)		

※ 本仕様は2024年1月1日現在のものです。仕様は予告なく変更する場合がございます。

アフターサービス

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼される時

本書の「故障かなと思ったら」をお読みいただき、それでも直らないときは、電源コードをコンセントから抜いて、ご購入の販売店または弊社相談窓口にご連絡ください。

大変危険ですので、ご自分で修理はしないでください。

保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理可能な製品については、ご希望により有料にて修理致します。

ご購入の販売店または弊社相談窓口にご相談ください。

修理ご依頼のときは、製品名、ご氏名、ご住所、電話番号、ご購入日、故障の内容（具体的に）をご連絡ください。


修理料金について

修理料金は、[技術料]+[部品代]+[出張料]+[輸送料]で構成されています。

商標について

- さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
 - Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国および他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
 - Android OSは、Google LLCの商標です。
 - Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
 - Dr.WEBはDr.web Ltd.の登録商標です。
 - QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

 **0120-261-271** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (月~金)

祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

さつき株式会社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号

©SATSUKI CO., LTD.

Ver.2